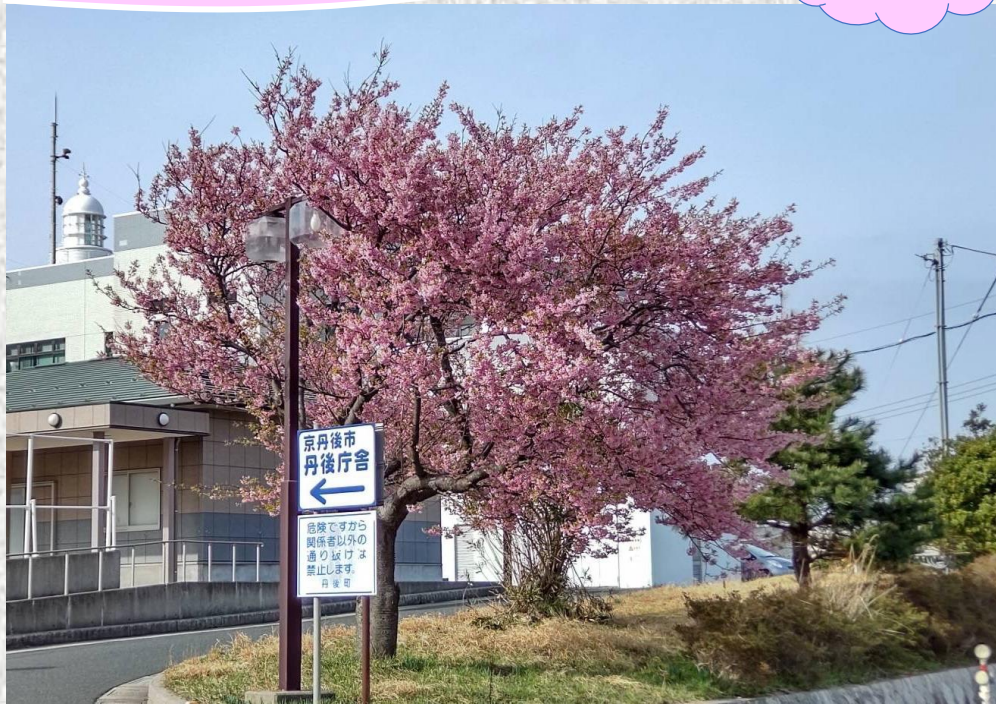


ルックルック！

NEWS
R5.3月号



丹後庁舎の「寒緋桜（カンヒザクラ）」

「緋寒桜（ヒカンザクラ）」と「寒緋桜（カンヒザクラ）」は、同じ桜です。寒い時期に緋色の花を咲かせる桜 ⇒ 緋寒桜（ヒカンザクラ）。「ヒカンザクラ」が「ヒガンザクラ」と間違えやすいので、寒緋桜（カンヒザクラ）と呼ぶことが多いようです。
丹後庁舎の緋寒桜は3月8日頃から咲き始め、一足早く春の訪れを感じさせてくれます。



←丹後市民局ルックルックNEWSの
バックナンバーはこちら

丹後町の人口

	R5.2月末	前月比
0-14歳	378	△2
15-64歳	2,159	△8
65歳+	2,079	△8
計	4,616	△18

丹後町内の元気やおめでたい情報をお届けする

Tango & 元気 news

お地蔵様の前掛け交換（吉永地区）



カ石に続く旧道



協力して前掛け交換



お着替え完了



色とりどりの前掛け

3月14日（火）、吉永地内のカ石や内垣に向かう旧道脇に鎮座するお地蔵さま約100尊の前掛け交換を円福寺にて写経を行う「写経の会」（世話役：吉岡千代子さん）が行いました。

吉永地区内で古い着物など古着の提供を呼びかけ、前掛けヘリメイクしているため、色とりどりの前掛けが完成します。

お盆とお彼岸前の年2回前掛けを交換しており、着替え終わったお地蔵さまの表情は微笑んでいるように見えました。

新たに地域おこし協力隊が着任しました！



田嶋 友幸さん(担当：宇川地域)

3月1日付けで、地域おこし協力隊として、田嶋友幸(たじま ともゆき)さんが着任しました。田嶋さんは京都市北区出身の43歳。宇川地域を担当し、地域が取り組む「宇川金曜市」や「移動販売」などの買物支援対策に協力しながら、移住希望者が気軽に集えるカフェの開設を目指します。カフェで使用する食材は、自ら栽培した食材を使用したいと農業にも取り組む予定です。
3年間よろしくお願いします。

【お詫びと訂正】

ルックルック2月号において、「佛教大学 鬼束准教授」と記載しましたが、正しくは「佛教大学 大束准教授」です。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

掲載団体や話題、表紙の写真を大募集！

スポーツ、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。また、表紙の写真も募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局（Tel.0772-69-0714）

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

丹後町な人

丹後町竹野漁港から小型船で約5分。犬ヶ岬の先端にある青の洞窟。洞窟内は幅が1・5mと狭く、海が風いだ日に小型船で入ることしか認められない秘境の洞窟です。そんな秘境の洞窟でワインの海底熟成に取り組むのが、柏原大介さんです。

柏原さんは丹後町間人出身で、東京の大学に進学するため丹後を離れます。大学卒業後は大手自動車メーカーや外資系IT企業で働き、現在は本業の傍ら、大阪市内で無農薬無添加のナチュラルワインを扱うワインショップを経営されています。

アメリカで約10年間の海外赴任を経験されますが、大学在学中から現在まで、毎年



プロジェクト・ブルー」
京丹後の海でワインの海底熟成
に取り組む

かしはら だいすけ
* 柏原 大介 さん *

欠かさず間人の秋祭りに参加するほど間人が大好きな人。地元へ貢献したいとの思いから、住所を間人へ移し、大阪市内と2拠点で活動されています。

昨年7月にまるっぽ間人プロジェクト推進協議会と同志社大学が連携して開催したワークショップに参加したことがきっかけで、「学生が間人のために頑張っているのと、自分もできることをやってみよう。」と、青の洞窟でワインの海底熟成に取り組むことを決意されました。7月中旬にプロジェクトが始動し、青の洞窟内の調査や海底熟成に適したワインの選定を行い、11月には海底熟成を始める仕事の早さ。また、海底熟成の状況を自らの目で確認するためダイビングの資格を取得する行動力には驚かされました。

「ワインを熟成する上での大敵は、高熱、振動、光であり、青の洞窟は全ての条件を満たす自然がつくったワインセラーです。人工酵母を使用せずに生産され、品質管理が難しいナチュラルワインを熟成管理が難



青の洞窟の海底で熟成されるワイン
(写真提供：柏原大介さん)

しい自然のワインセラーで熟成する。日本初の取り組みだと思えます。難しいことではありませんが、観光名所である青の洞窟×丹後のシーフード×海底熟成ワイン、海の恵みをコラボすることで、観光客を誘致し、地元貢献ができればいいな。」と柏原さん。柏原さんのプロジェクトは始まったばかりです。



洞窟内は光が届かずワインの熟成に最適

ワインの熟成状況を確認する柏原さん
(写真提供：柏原大介さん)

丹後町にまつわる古い写真を募集します！

丹後市民局通信「ルックルック」では、令和5年4月号より丹後町内の古い街並みや地元へ伝わる行事・祭事を写した古い写真を紹介し、昔の丹後町のたずまいや生活ぶりを紹介する新コーナーを開設予定です。秋祭りでの太刀振りの様子を写した写真など懐かしい写真をご提供願います。写真の提供については、丹後市民局までご連絡をお願いします。

(電話) 0772-69-0714

Tango 地域 news

3月3日(金)、宇川金曜市で総菜販売が再開され、約80名が来場されました。当日は宇川金曜市のひな祭りとして、来場者に米麹から作る本格派の甘酒が振る舞われ、苦手な人でも飲めるスッキリした味わいで、来場者に大好評でした。

また、新たな試みとして、試作中の新商品である「ふきのとうみそ」と「キウイ・リンゴジャム」の試食会を開催したほか、宇川地域の各地区から金曜市会場までの無料送迎バスの試験運行を始めました。無料送迎バスは3月末まで運行予定です。



甘酒のふるまいで賑わう喫茶室



かわいらしい雛飾り



試験運行が始まった無料送迎バス



「さいみそ」と「ジャム」の試食



アラ☆かんの演奏



200体のひな人形



宇川軽音クラブの演奏



手書きの看板が目を引きま

3月5日(日)、マリンバの演奏グループであるアラ☆かんのメンバー、山口洋子さんの呼びかけに応じたアーティストが集まり、宇川アクティブライフハウスを会場に「おひな祭りコンサート」が開催され、宇川地域の住民他約90名が参加しました。宇川地域からは宇川軽音クラブが参加し、「小脇地蔵の祈り」他2曲のオリジナル曲を演奏し、アラ☆かんはマリンバの演奏で会場を盛り上げました。

最後に出演者全員で「聖者の行進」を合奏した際には、自然と会場から拍手子が。演奏終了後には、出演者に感謝の気持ちを込めて花束を贈呈する場面もありました。



藤島充良さんによる講演



国の重要文化財に指定



写真中央 討論会に登壇した
経ヶ岬灯台保存会 山口圭一さん



会場の様子

宇川金曜市のひな祭り

おひな祭りコンサート(宇川地域)

海の京都の文化観光連携シンポジウム